



おもひで



豊田南中3学年だより第28号

令和2年11月20日(金)文責 佐藤 剛

進路実現に向けて

先週、期末テストが終わりました。そして、12/1には第2回県学力調査も控えています。ご家庭でも受検勉強に励んでいることと思います。ここで、少し考えてほしいことがあります。それは受検先の高校がどういった生徒を望んでいるかです。学校裁量枠がある学校ではその基準をみると、その高校が望む生徒がわかります。「特定の文化的・体育的活動」、「学科への適性」、「中学校における学習(9教科の学習成績、特定教科の学習成績)」などです。ここで特筆されることは「中学校における学習成績」です。この裁量枠は受検者全員が対象となり、高校側が希望の有無に関わらず、選抜していきます。ですから、裁量枠の基準に「中学校の学習成績」がある場合は、まずそこで合格できるように準備をしておかなければいけません。この「中学校の学習成績」とは調査書の評定(2学期の評定)になります。その評定に大きく影響してくる期末テストがもう終わりました。現在、テスト以外での評価の対象となる提出物などを各教科で集めています。きちんと提出期限を守って、提出できるよう、ご家庭でも一言声掛けをお願いできればと思います。



以下は期末テストの出題者からの感想とアドバイスです。

【国語】語句の問題では、漢字の正答率が高くなってきました。繰り返し練習した成果がよくわかりました。しかし、文法ではまだ理解が不十分なところが見られます。特に、助詞、助動詞、連体詞など意味・用法などで見分けにくい品詞は再度確認してください。入試でもよく出題されます。読解問題は平易な問題でしたが、解答方法(～点、抜き出しなど)でミスが目立ちました。以前もアドバイスしましたが、問題文で「なぜ、理由、～こと、抜き出し、文章中の言葉を使って、○字以内など」と書かれた部分に線を引いておくのとよいです。問題用紙に線を引く習慣を付けましょう。また、国語に限ったことではありませんが、テストにも難易度があります。問題を解きながら、このテストでどのくらい点を取ればよいかを判断し、確実に点を取れるところで落とさないようにしていくことが大切です。

【社会】公民のみの出題で細かいところまで扱いました。人権の分野では、出題予定だった憲法の勉強での質が問われ、丁寧に勉強してきたかどうかで大きな差が出た形になりました。事前に配られた問題集だけでなく、教科書を参考に工夫して勉強している生徒は確実に点数を取ることができました。政治の分野では、簡単なミスが多く目立ちました。与党と野党、国会の仕組みや選挙の仕組みなど、分かっていたのに間違ってしまった生徒がとても多かったです。入試の問題は、より多くの資料や選択肢を提示され、出題形式も工夫されています。分かったつもりでは解けない問題が多いです。普段の勉強から「分かったつもり」になるのではなく、細かいところまで丁寧に学習を続け、1点を簡単に失うことのないように最大限の努力を重ねてください。日々の積み重ねしか、方法はありません。

【数学】「2乗に比例する関数」と「相似な図形」の学習内容を中心に出題しました。変域を求める問題では、最小値または最大値が0になることを理解している人が多かったです。しかし、求め方の記述が足りない人がいたので、答えを導く過程を丁寧に記述しましょう。相似な図形を見つけ、三角形の相似条件を答える問題では、多くの人が正確に書くことができていました。また、この考えを証明に発展させて書くことにも慣れてきていますが、対応していない辺の比を書いたり、証明の順番が誤っていたりする人も見られました。もう一度、相似な図形の証明の仕方について復習しておきましょう。

【理科】理科の学習や単元プリントを中心に参考にしながら出題しました。基本的な知識に関する問いは、全体的に非常によくできていました。しかし、仕事率が0Jになるときの条件に付いて理解が浅い人が多かったです。また、エネルギーの移り変わりが運動の最中でどのように行われるのか、イメージを問う条件に当てはめて考えることができていません。仕事や仕事率の計算問題は、単純にJやWを出す方法だけでなく、どんな情報(N・m・時間など)が値を出すのに必要なかを覚えておく必要があります。また、単位変換ができていない人も目立ちました。身に付けた知識を、思考・表現につなげることができていない人がまだまだ多いですが、入試ではそのような思考力・表現力で大きな差がつかます。自習室等をもう一度解き、苦手な分野の「考え方」を理解するようにしていきましょう。

【英語】リスニング問題では、現在分詞、過去分詞を中心に出题しました。放送は2回繰り返しますので、1回目の質問で、何を聞かれているのかをメモに取り、2回目に挑みましょう。長文問題の一つは、教科書からです。授業を聞いて理解していたのに、既習の単語や、読み取りができない生徒がいました。これは、理解したつもりになっているからです。結局復習を怠るとテストに表れます。英語は言語なので書いたり、話したりすることができてようやく理解したことになります。授業の復習が一番大切です。それとは反対に1Pノートを使って教科書を重点に復習した人は、点数が取れたことでしょう。英作文問題では、提案の仕方の表現を覚えておきましょう。should, Why don't you? How about Oing?などは必須です。これも、自分で例題を作り練習するといいでしょ。最後に1年生の文法である、3単現のSや、be動詞の疑問文や否定文の作り方をもう一度確認してください。間違いに気付いたときがスタートラインです。今ならまだ間に合います。乗り遅れないようにしましょう。

<度数分布表>



卒業アルバムですが、3月の学年遠足、卒業式まで載せることが可能になりました。3年生(生徒、職員)が望んでいたことですが、保護者のご意見の後押しがあったことが大きかったと思います。ありがとうございます。アルバムは5月以降に各家庭で指定した送付先に送らせていただきます。送付料が追加されますが、学年費(積立金)で補っていきたいと思います。よろしくお祈いします。

来週の予定					
23	月	勤労感謝の日	26	木	3年生SPEAKテスト
24	火		27	金	1、2年期末テスト
25	水				